



平成30年8月23日
公益社団法人 土木学会北海道支部
平成30年度土木学会全国大会実行委員会

平成30年度 土木学会全国大会開催のご案内

公益社団法人土木学会では、毎年秋に全国大会を開催しております。全国大会は昭和43年から始まり、それ以前の年次学術講演会として開催していた時とあわせ、今年で73回目を数え、例年延べ20,000人以上（3日間）の参加があります。

平成30年度は、大会テーマを「社会システムのイノベーション創出のために ～未来に向けて土木が担うもの～」として掲げ、北海道支部において、平成30年度土木学会全国大会実行委員会（委員長：北海道開発局長 水島 徹治）を組織し、多くの関係機関（北海道開発局、北海道、札幌市、北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学他大学関係者、土木研究所寒地土木研究所、民間企業等）のご協力により下記の通り、札幌市で開催する運びとなりましたのでお知らせします。

記

1. 日 時 平成30年8月29日（水）～31日（金）
2. 場 所 ○北海道大学札幌キャンパス
（第73回年次学術講演会、研究討論会）
○かでの2・7（北海道立道民活動センター かでのホール）
（基調講演会、特別講演会、全体討論会）
○札幌駅前通地下広場（北1条イベントスペース（東）、北大通交差点広場（東））
（パネル展）
3. 大会内容
○ 記者会見
8月29日（水） 9：30～10：00
北海道大学札幌キャンパス（フロンティア応用科学研究棟1F大会本部会議スペース）
出席者 土木学会会長、実行委員会幹事長ほか

① 基調講演会（入場無料、一般参加可能） かでの2・7
8月30日（木） 14：00～14：45
講演題目 「明治150周年を迎えて：この国の来し方行く末を考える」
土木学会 会長 小林 潔司（こばやし きよし）
（京都大学大学院経営管理研究部 教授、大学院工学研究科 教授）

② **特別講演会**（入場無料、一般参加可能）かでの2・7

8月30日（木） 14:50～15:40

講演題目 「北海道における人口減少下の「地方創生」

北洋銀行 顧問 横内 龍三（よこうち りゅうぞう）

③ **全体討論会**（入場無料、一般参加可能）かでの2・7

8月30日（木） 16:00～17:40

テーマ 「社会システムのイノベーション創出のために ～未来に向けて土木が担うもの～」

パネリスト：

青木 啓二（あおき けいじ）（先進モビリティ株式会社 代表取締役社長）

磯田 彩実（いそだ あやみ）（テレビ北海道 アナウンサー）

片野 浩司（かたの こうじ）（（国研）土木研究所寒地土木研究所
寒地機械技術チーム上席研究員）

今 尚之（こん なおゆき）（北海道教育大学教育学部 准教授）

宮田 昌利（みやた まさとし）（釧路根室圏まちとくらしネットワークフォーラム座長）

コーディネーター：

高野 伸栄（たかの しんえい）（北海道大学公共政策大学院 院長）

④ **第73回年次学術講演会**

北海道大学札幌キャンパス（高等教育推進機構、工学部、情報科学研究棟）

大学、研究所、国、都道府県、市、民間企業等の様々な分野の研究者による研究発表

講演総題：約4,000題

8月29日（水） 9:00～16:40

8月30日（木） 9:00～12:00

8月31日（金） 9:00～16:00

⑤ **研究討論会**

北海道大学札幌キャンパス（高等教育推進機構、工学部）

8月29日（水） 13:00～15:00

研究討論会は、「2016年熊本地震が突きつけた課題」や「極端災害事例から学ぶ気候変動適応の課題」など14件について研究討論会を行います。

⑥ **西日本豪雨災害調査団報告会**

北海道大学札幌キャンパス（工学部 オープンホール）

8月31日（金） 13:00～16:15

西日本豪雨災害調査における水工学委員会、地盤工学委員会、土木計画研究委員会からの調査報告を行います。

⑦ International Program (国際関連行事) (入場無料、一般参加可能)

北海道大学札幌キャンパス(フロンティア応用科学研究棟レクチャーホール、セミナー室2、
高等教育推進機構 3F N302, 304)

8月29日(水) 9:00~17:00

国際パネルディスカッションでは、「インフラ管理とレジリエンスにおけるアジアと西欧の比較」をした上で、議論します。国際サマーシンポジウム&ワークショップでは、留学生、若手技術者の研究発表、および「巨大災害が発生した時、あなたが市長だったらどうする？」と題し、グループディスカッションを行います。

⑧ 広報関連行事 (入場無料、一般参加可能)

北海道大学札幌キャンパス(高等教育推進機構 3F N302)

8月29日(水) 13:00~15:00

ベスト・イノベーター・オブ・土木偉人

「明治期に革新的な功績を残した土木偉人」をテーマに学生及び若手技術者9名がプレゼンテーションを行い、ベストプレゼンターを決定します。

⑨ パネル展示 (入場無料、一般参加可能)

札幌駅前通地下広場(北1条イベントスペース(東)、北大通交差点広場(東))

8月29日(水)~31日(金) 各日10:00~19:00

テーマ 「北海道150年 ~北の大地の足跡~」

北海道命名150年を迎えたこの節目に、現在の北海道の社会システムが創り上げられた足跡を振り返り、現代の生活を支えている土木施設の貴重な資料や映像を通じて、多くの一般市民の方に土木技術の存在を実感していただくものです。

⑩ 交流会 (事前申込み必要、費用別途)

京王プラザホテル札幌 2階「エミネンスホール」

8月30日(木) 18:20~20:00

⑪ 映画会 (入場無料、一般参加可能)

北海道大学 フロンティア応用科学研究棟 レクチャーホール

8月29日(水) 9:30~11:25 土木技術映像委員会制作の貴重映像作品

8月30日(木) 9:30~11:40 北海道の土木技術映像

8月31日(金) 9:30~15:10 土木学会選定作品・最新作・受賞作品

⑫ 見学会 (事前申込み必要、費用別途)

半日コース 8月29日(水) 13:00~17:30

1日コース 8月31日(金) 8:30~17:30

⑬ アンサンブルシヴィル演奏 (入場無料、一般参加可能) かでのる2. 7 かでのるホール
8月30日(木) 13:15~13:40

⑭ アイヌ古式舞踊 (入場無料、一般参加可能) かでのる2. 7 かでのるホール
8月30日(木) 13:45~13:55

4. その他

平成30年度北海道大会推奨論文一覧 (別紙)

※詳細についてはホームページにも紹介しておりますのでご覧ください。

<http://jsce.or.jp/taikai2018/>

※西日本豪雨災害調査団報告会

<http://committees.jsce.or.jp/report/node/179>

※ベスト・イノベーター・オブ・土木偉人

<http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/112>

【お問い合わせ先】

平成30年度土木学会全国大会実行委員会・総務部会・広報班長

坂野 伸治 (北海道 建設部 建設管理課 技術管理担当課長)

TEL 011-204-5588

平成30年度土木学会全国大会実行委員会・事務局

谷澤 清治 (公益社団法人土木学会北海道支部 事務局長)

TEL 011-261-7742

部門	セッション	講演タイトル	著者所属・氏名	概要	講演番号	発表日	時間	会場	備考
I	橋梁床版(2)	寒冷地の床版上面滞水が床版劣化に及ぼす影響	日本橋梁建設協会 山崎敏宏 ほか	寒冷地において、床版上面に滞水する環境下で輸荷重が床版劣化に及ぼす影響を基礎的な試験により検討している。ひび割れに侵入した水や凍結融解により、ひび割れの進展が促進され劣化が進むことを示しており、寒冷地特有の維持管理上の課題点を指摘するものである。	I-362	平成30年8月31日(金)	10:40~12:00	I-7会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E207)	
I	維持管理(耐候性鋼)	凍結防止剤散布地域での耐候性鋼橋の適用性評価に関する検討	長岡技術科学大学 石井一騎 ほか	寒冷地では凍結防止剤として大量の塩化物を散布するが、この散布量と桁部への飛散量、鋼材腐食量の間係を定量的に調べたものであり、北海道における今後の橋梁維持管理に示唆を与えるものである。	I-043	平成30年8月31日(金)	13:00~14:20	I-1会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E201)	
II	水災害リスクマネジメント危機管理	大規模水害時の避難者の収容に関する現状と課題	オリエンタルコンサルタンツ木村 美瑛子 ほか	本発表ではK区を対象に、荒川、綾瀬川、中川、江戸川が破堤した場合を想定し、避難が必要な住民数を地域別に整理し、各地域の水害時の避難に関する課題を明らかにした結果が報告される。	II-010	平成30年8月29日(水)	15:20~16:40	II-1会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E218)	
II	水災害・防災(1)	建物内の浸水を考慮した簡易な避難時間算定モデルの検討	大成建設 永野 雄一 ほか	豪雨の頻発化及び水防法の改正によって、地階を有する建築物の浸水対策及び避難計画の策定は重要性を増している。本発表では、簡易に避難時間を算出可能な避難時間算定モデルを作成したことが報告される。	II-015	平成30年8月30日(木)	9:00~10:20	II-1会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E218)	
III	補強土(1)	ジオテキスタイルによる軟弱地盤上盛土のゆるみ抑制効果	土木研究所 石村陽介 ほか	東日本大震災で盛土自体の液状化が報告された。その対策方法としてジオテキスタイルを用いる方法の有用性を示している。	III-409	平成30年8月29日(水)	10:40~12:00	III-9会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E312)	
III	リサイクル(1)	除去土壌再生利用実証事業の報告 -その1:再生資材化処理-	除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合 光本純 ほか	環境省の委託により福島県南相馬市で実施した除去土壌再生利用実証事業に関する報告	III-499	平成30年8月31日(金)	13:00~14:20	III-10会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E313)	
IV	TDM	既存ストックを有効活用した観光渋滞対策	中央コンサルタンツ株式会社 大嶋一也・堀田靖文・秦地大・山本裕基	北海道の著名な観光地における交通渋滞対策の報告であり、道路幅員を広げずに車線を増やす方法や、休日利用が無い郊外部駐車場を活用したパーク&バスライドなどの工夫された施策が大いに参考になる。	IV-111	平成30年8月29日(水)	10:40~12:00	IV-3会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E318)	
IV	まちづくり・地域づくり(2)	道の駅と自動運転技術を活用した生産空間を支える新たな交通施策について	ドーコン 片桐広紀 ほか	自動運転と道の駅を活用し、住民の移動の確保や、地元農水産品輸送の確保、来訪観光客の移動の確保を報告したものであり、地方部発展のための取組み事例として大いに参考になる。	IV-008	平成30年8月29日(水)	15:20~16:40	IV-1会場(北海道大学札幌キャンパス 高等教育E315)	
V	構造物調査・診断(2)	簡易橋梁点検チェックシートと橋マップを用いた地域橋梁におけるセルフメンテナンスマodelの構築と実践	日本大学 浅野 和香奈 ほか	2014年6月に道路橋定期点検要領では、5年に1回の近接目視点検に加え日常点検の重要性を示した。しかし、地方の自治体では限られた予算の下で橋の維持管理を行う必要がある、市民との協働の維持管理の必要性が高まっている。非実務者でも橋梁点検が行える、「簡易橋梁点検チェックシート」を作成し、地域住民だけでなく高校生やインハウスエンジニアにも活用可能性が広がり、住民主導型、高校生主導型、インハウスエンジニア主導型の3種類の体制を構築することとした。さらに、得られた点検結果を位置情報と共にウェブ上で確認できる「橋マップ」を作成・公開し、橋の清掃活動へつなげる、「橋のセルフメンテナンス」を目指した。	V-617	平成30年8月31日(金)	13:00~14:20	V-13会場(北海道大学札幌キャンパス 工学部C308)	*国民協同型のメンテナンスへの実践は社会貢献が高いと考える。
V	舗装一般(2)	積雪寒冷地におけるアスファルト舗装発生材の歩道路盤材料としての適用に関する検討	土木研究所寒地土木研究所 安倍 隆二 ほか	北海道の北部、宗谷・留萌管内において、アスファルト中間処理施設ではアスファルト舗装発生材の受入量に比べ再生利用量が少ないため、各施設のストック量が増大し、ストックヤードの確保が困難な状況にある。そこで、アスファルト舗装発生材のアスファルト混合物以外の用途に向けた取組として、過年度において東上抑制層や構造物の基礎材としての試験施工を行ってきた。本文は更なる利用促進として、歩道路盤材料にアスファルト再生骨材を用いた試験施工を行い、適用性について評価した結果を報告するものである。	V-642	平成30年8月30日(木)	10:40~12:00	V-14会場(北海道大学札幌キャンパス 工学部C309)	*積雪寒冷地でのアスファルト材料の適用事例
VI	検査・診断(5)	樹林管理における三次元計測システムの可能性	ネクスコ・エンジニアリング北海道 山中泰輝	北海道の防雪林の新しい品質管理手法として、樹木個々の変状に着目した樹冠投影図を考案し、その製作過程において、効率的な計測及び高精度な図化を目的に屋外レーザーキャナーを使用した。取得した3D空間は新たな管理方針の確立や植栽機能の能力査定など今後の汎用利用を拡大するものとなる	VI-405	平成30年8月31日(金)	9:00~10:20	VI-8会場(北海道大学札幌キャンパス 工学部MC201)	
VI	建設環境	寒冷地におけるエコスタック設置がもたらす生態系保全機能の特徴と変遷	鹿島建設 越川 義功	北海道上川地方でのダム建設工事において、森林生態系のコア材としてエコスタック(動植物の生息を意図した石、樹木を積み上げた空間)を適用した事例を通じて、エコスタックがもたらす生態系保全機能の特徴とその変遷について報告している。	VI-529	平成30年8月31日(金)	14:40~16:00	VI-10会場(北海道大学札幌キャンパス 工学部MC208)	
VII	ヒートープ(2)	北海道道央地域における二ホンザリガニの代替生息地対策及びその効果	パシフィックコンサルタンツ 野手啓行 ほか	北海道新幹線のトンネル掘削土受入地で確認された二ホンザリガニ(環境省レッドリスト:絶滅危惧種)について、保全措置として行った代替生息地創出の比較検討結果であり、道内における類似事例への貴重な情報を発信していると思料。	VII-049	平成30年8月31日(金)	14:40~16:00	VII-1会場(北海道大学札幌キャンパス 情報棟A11)	道内事案
VII	環境システム(2)	国道4号におけるエゾシカのロードキル発生要因分析	日本大学 鷲尾朋紀 ほか	エゾシカと自動車の交通事故に関し、道内で最もシカ事故件数が多い国道4号を対象に、沿道環境や道路構造などが事故発生及び非発生に及ぼす影響について分析したものであり、今後の対策立案に有用である。	VII-034	平成30年8月31日(金)	10:40~12:00	VII-1会場(北海道大学札幌キャンパス 情報棟A11)	道内事案